

2025年度 授業公開デイ

授業公開対象科目の講義の内容について

11月24日(月) 2限目

※教室は当日変更になる可能性があります。

【観光マーケティング論】 金 承珠 (キム スンジュ) 准教授**5102 中教室****対象学部 (履修開始年次) : 人間社会学部 (2年生)**

マーケティング界の第一人者であるコトラーは「新しいマーケティングは、ターゲット顧客に対してより優れた価値を創造し、コミュニケーションし、届けること。そして、マーケティングは今、大きく変わろうとしている。最新のマーケティングは、マーケティングを企業の成長エンジンと捉える。」としている。近年、デジタルテクノロジーの発展や新型コロナの影響で観光を取り巻く環境も大きく変容している。このような観光ビジネス環境の変化は、マーケティング戦略や手法に大きな影響を与えると同時に、マーケティングそのものの重要性を高めている。

【社会学基礎】 水野 英莉 (ミズノ エリ) 教授**6304 大教室****対象学部 (履修開始年次) : 人間社会学部 (1年生)**

社会学は、世の中に起こるあらゆる現象について、科学的に調べる学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということの意味する。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具 (社会学理論の基礎) を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読み解くことを目的とする。

【商業立地論】 秦 洋二 (ハタ ヨウジ) 教授**6204PC 演習室****対象学部 (履修開始年次) : 商学部 (3年生)**

事業者のビジネスは、現実空間の中で行われています。例えば、小売店は販売拠点 (店舗) を持つ必要がありますし、ネット事業者は在庫を保管するための倉庫が必要です。そして事業者のビジネスが成功するかどうかは、「どこに」それらの施設を構えるか、つまり立地が決定的に重要な意味を持ちます。本講義では、商業立地に関する理論とともに、商業立地の分析方法についても実習形式 (パソコンを使用) で学んでいきます。

【デジタル社会の基礎知識】 保田 洋（ヤスタ ヒロシ）准教授

2109 中教室

対象学部（履修開始年次） : 全学部（1年生）

情報化は社会のさまざまな側面で進行し、コンピュータはより身近に、我々に意識させないレベルで浸透しており、多くの利便性を社会に提供している。

本科目ではグループワークや個人ワークを通して、情報が社会にどのような変化をもたらしてきたのかを振り返り、IoT とビッグデータとの関わりと我々の生活への影響、AI（人工知能）がもたらすライフスタイルの変革を身近に捉え、今後の「社会」の在り方について考えることとする。

また、日常生活の中の疑問を統計の視点から見直すことで、データの基本的な扱い方を知り、新しい観点を養うことで、日常生活や社会の課題解決の糸口になり得ること、新たな価値を創出することを知り、社会の変化とそれともなうリスクや配慮事項を理解し、自身や周囲の安全を守るために必要な知識を学ぶこととする。

【民法 A】 八木 雅史（ヤギ マサシ）教授

4301 大教室

対象学部（履修開始年次） : 商学部・経済学部（2年生）

私達は様々な権利や義務に囲まれて生活しています。いえ、より正確には、様々な権利や義務に関わりながら生活しています。食べ物や衣服などの生活必需品を始め、娯楽品やぜいたく品、現金宝石などの大切な財産を他人の侵害から守ってくれている権利（物権）もあれば、自分の運命を託すほどにあてにした他人の約束を期待通りに守らせることができる権利（債権）もあります。また、私たちには生活の場面ごとに法律による様々な義務（家族に対する扶養義務など）が負わされることになるし、また自ら作りあげた他人との人間関係に基づいて新たな義務（契約当事者間の義務）が発生することになります。

この社会において生活するということは、これらの権利や義務と深く関わりながら生きていくということの意味なのです。したがって、どのような権利が、そして義務が自分のものになるのかということが、自分がどのような生き方をするのか、どのような人生を送るのかを決定することにもなるのです。これこそ近代社会では、自分の権利や義務を選ぶことができるのは本人自身であるとする「私的自治の原則」が謳われている理由なのです。では、そもそも生活するうえで深く関わるこれらの権利や義務と、私たちはどのような関係に立つのでしょうか？

私達が自分自身の意思に基づいて、生活し人生を送ろうとするのであれば、実際にどのような権利や義務が世の中に存在するのか、またどうすればそれらの権利義務を作り出し、あるいは内容を変更することができるのかを学ばねばなりません。本授業の到達目標がこれなのです。

【金融政策論】羽森 直子 (ハモリ ナオコ) 教授**6303 中教室****対象学部 (履修開始年次) : 経済学部 (3年生)**

日本においては、長期にわたってデフレ (継続的な物価下落) が続いていたが、昨年からインフレ傾向に転じたことから、日本銀行の金融政策のあり方がどう変化するのかについて関心が高まっている。

では、そもそも金融政策とはどのような手段で実施され、どのような効果が期待されているのだろうか。そして、非伝統的金融政策とはどのようなものなのだろうか。この講義では、金融政策に関するより深い知識を修得し、どのような課題があるのか、そしてどのような解決策が考えられるのかについて考察することを目的とする。

具体的には、日本の中央銀行である日本銀行の役割、組織、歴史、同行の金融政策の特徴と枠組み、非伝統的金融政策と呼ばれる実際の金融政策運営、さらに欧米主要中央銀行の金融政策等を取り上げる。

【健康と生活】 亀谷 涼 (カメタニ リョウ) 専任講師**5102 中教室****対象学部 (履修開始年次) : 全学部 (1年生のみ)**

本授業では、心理学とライフスキル理論を土台に、「自己理解、他者との関わり、そして主体的な成長」という3つの段階を通して、心身ともに健やかで充実した生活を送るための実践的なスキルを学びます。

具体的には、まず「自己理解」を深め、自分自身の感情や思考パターンを客観的に捉える力を養います。ストレスマネジメントや、セルフケア (睡眠、運動、栄養、感情調整) の実践を通じて、心と体のバランスを保つ方法を身につけます。

次に、「他者との関わり」では、無意識の偏見に気づき、公平性や倫理観に基づいたコミュニケーションを学びます。多様な価値観を尊重し、チームでの協力を通じて、円滑な人間関係を築くための力を育みます。

そして、最終目標である「主体的な成長」のために、リフレクション (振り返り) を習慣化し、経験から学びを得る力を養います。これらの学びを通して、社会のあらゆる分野で自律的に行動し、困難を乗り越え、より良い未来を創造する「フロントランナー」として活躍するための基礎を築きます。

【社会心理学】 福田 哲也 (フクダ テツヤ) 准教授**4301 大教室****対象学部 (履修開始年次) : 人間社会学部 (1年生)**

人は社会の中で生きており、常に他者に影響を与えたり、他者から影響を与えられたりしている。社会心理学は、社会を構成する人々の関わりが生み出す効果やそれらの発生プロセスを扱う学問である。

社会心理学は幅広いテーマを持つ学問であるが、その研究対象は①個人内の心理過程、②二者間の社会的関係や社会的相互作用、③集団や組織・文化という3つのレベルに大別することができる。この授業では、それぞれに関わる主要なトピックについて概念や理論、研究を概観する。そしてこれらを通して、社会心理学に関する基礎的な知識やその考え方・物事の見方を理解することを目標とする。

【スポーツ科学】 伊藤 淳（イトウ ジュン）准教授

5317 中教室

対象学部（履修開始年次） : 全学部（1年生）

【目的】

本科目は、全学共通科目における教養科目の健康スポーツ科学分野の1つである。

スポーツ科学は、様々な専門分野から構成されている。それは、スポーツ生理学などの自然科学的分野だけではなく、スポーツ心理学やスポーツ教育学などの人文科学・社会科学的分野にも及んでいる。本科目では、スポーツ科学を総合的に学ぶことにより、スポーツに関して造詣を深める。

スポーツを取り巻く状況は、大きく変化してきている。発展している面もあれば、反対に、様々な課題も発生している。本科目を受講することにより、それらの解決策が提案できるようになってもらいたい。そのためには、課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて情報を収集したうえでその情報を多角的に分析し、新しい視点と豊かな発想が必要である。

【流通史】 亀井 大樹（カメイ タイキ）専任講師

2103 小教室

対象学部（履修開始年次） : 商学部（2年生）

華々しい「産業革命」や工業化の歴史に比べて、流通の歴史はどこか地味な印象があるのではないのでしょうか。しかし流通の歴史は実は「産業革命」に匹敵するぐらいの大きな進展があったのです。日本の流通の歴史は本格的には戦後の高度経済成長期に「流通革命」として大きく前進することになります。

この講義では日本の流通システムの特徴をまず洗い出した上で、そうした特徴がいつ成立したのかを歴史的に遡っていきます。講義の序盤を卸売業と問屋制の成立と進展について、中・後盤を小売業の業態開発とその展開について学びます。本講義はあらゆるものに歴史が存在するという立場をとり、この講義を履修することで、「歴史的に考察する癖をもつ社会人」の育成をめざします。

--Memo--